

今を未来に

学校評価アンケートの結果のお知らせ

本年度も2学期末に、保護者の皆様とお子様にご協力いただき、さらにもう一步学校をよくするために願って、学校評価アンケートを実施させていただきました。保護者の皆様のアンケート回収率は97.8%（昨年度比+0.9%）でした。皆様が学校のこと・お子様のことを普段からよく見て、考えていただいていることが、この回収率からも伝わってまいります。本当にありがとうございます。



回答いただいた中に記名してご意見をいただいた方には、この通信の後半で校長としてどう考え、捉えているか回答させていただきます。また、記名いただいた方でも、お子様個人に関するご意見と捉えたことにつきましては、担任ともよく相談をして、担任の方から考えや今後どうしていくとよいのか話をさせていただきたいと考えています。

昨年度「学校の回答は否定的なものばかり」というご指摘があったことを肝に銘じ、保護者の皆様、お子様からの回答・意見を検討させていただきました。また、私も含めて気づいていない点はまだあるかと思っています。保護者の方の中には遠慮されて記述を避けられた方もみえる、ということを前提として分析するよう心がけました。それでも、ご意見の取り間違いをしていたり、「やっぱり学校は何を言っても受け止めてもらえない」と感じるような回答・分析もあるかもしれません。学校評価アンケートは保護者の皆様とともに保々小学校を「学ぶことが楽しい学校」にしていくための一つのツール（方法・手段）と捉えています。これをきっかけに、直接校長や担任と話をしていただける関係になっていただければと思っています。

それではまず、4段階で回答いただいたアンケートの結果をお伝えします。別紙の集計表をご覧ください。今年度と昨年度が比較できるようになっています。集計表の右側には、評価3と4の方の割合を%で示させていただきました。学校やお子様の様子で「満足しているほう」と考えていただいている方がどれだけみえるか集計した事になります。また、



昨年度との「評価の差」について、水色になっているのは昨年度より+2%以上、青色は+10%以上（今年度もありませんでした）、濃いピンク色は-2%以下を示しています。

「豊かな感性」について

子どもたちの回答は「1. 自分のよいところがわかりますか」

は昨年度と全く同じ79.0%でした。「2. 自分や友だちを大切にしていますか」は、97.7%（昨年比+0.8%）の子どもたちが肯定的回答をしてくれました。それとリンクする「17. いじめやなかまはずしはしていませんか」では、4.5%（昨年比-6.3%）の子どもたちから肯定はできないと回答が返ってきましたが、大幅に改善された結果となりました。普段の教育相談からわかってきたことですが、子どもたちは「以前こんなことがあった。」ということを引きずっていることが多いため、解決されたことは解決されたことと伝えることが大事とこの1年間取り組んできた事が、数字に表れたように思います。引き続き肯定はできないという回答が0%に近づく努力をしていきます。また、「5. すすんであいさつをしていますか」は、89.7%（昨年比+5.8%）の子が肯定的回答でした。保護者の方の回答も+2.1%でしたが、肯定的回答は71.8%に留まっていますから、「誰にでも」「家族にも」ということが、指導のポイントになると捉えています。気掛かりなのは、子どもたちからの回答で「3. 自分の思ったことを相手に話していますか」と「4. 先生や友だちの話を聞くように心がけていますか」の肯定的回答がともに若干ですが下がったことです。授業の中でも「聞く（聴く・訊く）」「話す」は教員が最も大切と考えていることだけに、「これでよし」と捉えている所が私たち教員側になかったか、見直しを図りたいと考えています。

保護者の方からの回答は、豊かな感性の5項目全てにおいて肯定的回答が増える（+1.3%~+5.0%）結果となりましたが、その割合は71.8%~77.9%の範囲内で、目標としていた80%を超えることができませんでした。同じ項目で教職員のアンケート結果は「自分の思いを相手に話せていますか」は肯定的回答が82.1%（前年度比+15.4%）「元気づくあいさつができるようになっていきますか」は肯定的回答が75.0%（前年度比+4.1%）でした。教職員は、「めざす子どもの姿」として「心の計算を身に付ける」ことを大切にしたいと考え、授業づくりや生活指導に取り組み、子どもたちも委員会活動などで自主的な活動に取り組み、それなりに手ごたえも感じていましたので、大幅に改善されてきたと捉える結果になったのだと思います。「豊かな感性」の肯定的回答はもっと高い評価がいただけるように、「話す」「すすんであいさつをする」いわゆる「発信力」を、子どもたち自身がもっと身に付けていきたいと考えられるように、さらに授業改善に努力し、保々のつどいのような発表の場を大切にしていきます。

その上で「5. 自分からすすんであいさつをすることができますか」（子どもアンケートでは「5. すすんであいさつをしていますか」）については、「先生にはあいさつをする子」「言われたらあいさつができる子」になってしまわないように、家庭や地域と連携して取り組んでいきたいと考えます。登校する時に止まってくれた車に向かって一礼しながら「ありがとうございます」と言える子もいます。そういった場面を見かけたら「言えてよかった」と思うだけでなく、声に出して子どもたちを褒めていくことも大切なように思います。地域ぐるみで子どもたちを育てていると言える地域は、きっとこうしたことを大切にしているのだと思います。



「やり切る態度」について

「やり切る態度」に関するアンケートの中で、顕著に改善されたのは、子どもアンケートで「7. 毎日家庭学習をしていますか」が挙げられます。初めて肯定的回答が9割を超え、90.3%（前年度比

+7.6%) でした。しかし、気を付けて見なければならぬのは、肯定はできないと 9.7% (クラスで 3 人程度) の子が回答していることです。この子たちが固定化されていないか、担任は引き続き「どの子どもでもできる」家庭学習の働きかけをしていく必要があります。各家庭におかれましては、その環境 (家庭学習を始める前に机の上を片づける、テレビを消す、ながら勉強をしていないかお子さんとよく話し合うなど) を整えることにご協力いただくとよいかと考えます。

一方「やり切る態度」の中で「8. 読書をしていますか」(保護者アンケート)「8. 読書をするのが好きですか」(子どもアンケート)は、肯定的回答が 47.0%・79.0%で、他のアンケート項目に比べて、揃って低い数値に留まってしまいました。教職員アンケート「8. 子どもたちは本を読む習慣が身についていますか」は、肯定的回答が 82.1% (前年度比+19.6%) とは、結果に大きな違いが見られました。「あいさつ」と同じで、学校ではできていても、それが家庭にまで戻ってできる力・意識にまではまだ身につけていないということなのだと思います。読書ボランティアの皆さんのお力もお借りしながら、楽しい読書活動を考えていかなければなりません。

その他の回答は、保護者アンケートも子どもアンケートもほとんど昨年と同じでした。教職員の方は、特に高学年の委員会活動などに見られるように、自分たちで安心・安全な学校を作ろうとする活動を評価し、「9. 子どもたちは自分からやってみようとしていますか」は肯定的回答が 85.7% (前年度比+14.8%) で、大幅な改善と見ていました。やり切る態度を育てるためには、子どもたちが「やってみよう」という気持ちになることが第一で、やってみたくなる学習や行事、委員会活動・係活動を組んでいくことを、どのクラス・どの学年でも大切にしていきます。



「生きぬく基礎」について

この項目については、昨年度に引き続き、子どもたちは非常に高い肯定的回答を示してくれました。また、保護者の皆様の結果も改善方向にあるという回答となりました。教職員の結果も、ほぼ改善方向にあり、その中でも「11. 子どもたちは自分から人にたずねたり、お願いしたりするようになっていきますか」では肯定的回答が 92.9% (昨年度比+22.0%) と、子どもたちの姿から「たずねる力」=「訊く(きく)力」がついてきていると実感しています。

また、毎日の食後の歯磨きについては、保護者の方の肯定的回答が初めて 9 割を超え、90.2% (前年度比+3.5%) となりました。子どもたちは以前から 9 割を超える子が肯定的回答をしていましたので、習慣にまでなっていない子は 1 割を切ったと言えます。学校歯科医さんからも、少しずつ歯磨きについては改善の跡が見られると言われていましたので、引き続き歯磨き指導に取り組みたいと考えています。

また、育ちのプログラムについて各家庭におかれましても意識していただいているかの問いについては、肯定的回答が 64.9% に留まっています。最近、学校・学年・学級からのおたよりで、少しずつ 6 視点を入れたおたよりが発行されるようになってきましたが、いつもではありません。まずは、保護者の方にその意図をお伝えしていくことを意識していきたいと考えます。

「市からのおたずね」について

4項目全てに保護者の皆様からも子どもたちからも、肯定的回答が85%を超える結果となりました。その中でも保護者アンケートの「16. 気づいたことや心配なことなど学校に伝えることができますか」では、88.5%（前



年度比+2.1%)の方から肯定的回答をいただきました。年々少しずつ上向き回答をいただいておりますが、引き続き肯定的回答が上向き努力を重ねていきたいと思っております。

気になっていることは、子どもアンケートで「16. 学校は楽しいですか」の問いに対し、肯定的回答が85.8%（前年度比-2.6%）になったことです。「17. いじめやなかまはずしはしていませんか」「18. 授業で学習したことは、将来の役に立つと思いますか」は、肯定的回答が95%前後になったのですが、それだけでは「学校は楽しい」とは子どもたちの思いはならないことを考えていかなければなりません。子どもたちにとって「楽しい」と感じる学校はどんなことなのか、保護者の皆様とも話し合いながら考えていきたいと思っております。

記述いただいたご意見・ご要望について

学校アンケートでは、「保々小学校をさらによくするためのご意見・ご要望」を保護者の方に、「学ぶことが楽しい学校」になるためにどのようなことを行うとよいのかを4年生以上の子どもたちに記述してもらっています。

記名いただいた方からのご意見については、できる限り皆さんにも知っていただき、私たち職員の考えについて意見を返していただければという思いで、以下のように回答をさせていただきました。また、無記名の方からのご意見・ご要望につきましては、文書による回答は控え、職員間で共有し、今後の取り組みに生かしていきたいと思っております。

子どもたちからの意見は、それぞれの学年・学級で普段から大切にしていることを、自らができること、仲間とともに大切にしたいこととして書かれている内容が多く出されてきました。

【保護者の皆様からいただいたご意見に対する学校の考え】

○聴き合い語り合う授業づくり

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
生きぬく基礎【まなぶ】 保々小学校の授業づくりが、いい方向に向かっていることを学校だよりなどで知って、大変うれしく思いました。先生方は大変だと思いますが、これからも頑張ってください。	子どもたちにとっても自信につながる事だと思っています。また、授業づくりをしっかりしていくことが仲間づくりになることを、教員も実感している所です。これからも授業改革に取り組んでいきます。
豊かな感性【だいすき】【つながる】 授業参観で見る子どもの姿とわが子から聞くクラスの子どもの姿に、かなり隔たりを感じています。授業妨害をしているお子さんについて、学校はどのように考えてみえますか。また、その子の保護者の方はこのことを知ってみえるでしょうか。	隔たりの大きい小さいはありますが、自分の親が見に来ている時に、良い所を見て欲しいという気持ちになることは子どもらしい姿と捉えています。もちろん、だから普段は授業妨害をよしと考えているわけではありません。子どもが学びたいと思える授業づくりをまず第1に考え、それでもという場合は、保護者の方に学校へ来ていただき、相談をさせてもらったりもしています。

○支え合う仲間づくり

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
<p>生きぬく基礎【すこやか】 約束やきまりなどを守る姿勢（問12）は、言われたことをやるという様子です。</p>	<p>まだ1年生でもありますから、言われたことを守ることができれば、ステージ1のゴールに到達していると褒めてあげてください。「自分で」という要素はステージ2の段階に入ると考えていますし、保々小では2年生から4年生の間にそうした自主性が芽生えることを大切にしています。</p>
<p>豊かな感性【つながる】 子どもの送迎などで時々来校する機会はあるが、自らすすんで挨拶をする教員とそうでない教員が二分していることが気になる。子どもたちに求めるのであれば、まずは校内において教員自ら模範を示すべきでは？</p>	<p>「挨拶ができる」ということについては、プログラムのどのステージでも大切な事としてあげています。ご意見の通りだと思います。ここに書かれている「送迎」がどのような時かはわからないのですが、学校の帰りにご家庭の都合や雨が降ったからとお迎えに来ていただいている保護者の方に「こんにちは。ありがとうございます。」と担任が挨拶をしている姿をみた地域の方から「今日はお迎えが多いなあ。お迎えの保護者にあまり丁寧にあいさつをしているのを見ると、お迎えがありがたいと周りの子どもに伝わらないか。それだと、歩いて帰っている子はどう思うか、先生たちは考えやなあかん。基本は歩いて帰ると学校は子どもたちに言っているんやろ。」と言う、ご意見をいただいたことがあります。お迎えにみえている保護者の方の中には「お迎えの時はあまり声をかけないで。」という気持ちが出ている方もあります。だから挨拶をしなくてよいという理由とは思っていません。そうした声や気持ちにも配慮しながら、私たち教職員が場に合わせた挨拶や会話ができるように、心がけていきます。</p>

○学習・生活の支援体制づくり

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
<p>やり切る態度【じっくり】 少々落ち着きのなさに不安を感じていたのですが、先生のお声がけ等もあり、本人なりに少しずつ成長していると思っています。他の子に比べるとまだまだで、とても不安ですが、担任の先生の寄り添いもあり、心強く感じています。</p>	<p>一人ひとりのお子さんがその子なりの成長をしていると、保護者の方に感じていただけたことがとても嬉しく思います。ここに書いていただいたような寄り添い方を全職員ができるように、努力を重ねていきます。</p>
<p>やり切る態度【じっくり】 子どもの性格や発達の違いを受け止め、それを個性と捉え理解し、支援してくださる先生方に対し、非常に感謝しています。学校全体で連携がとれ、先生方の団結力はまさに「チーム保々」ですね。連日遅くまでお仕事をされているのではと思います。体が資本です。先生方の健康についても心配しています。</p>	<p>いただいた意見のようにお子さんに関われる教員でありたいと思います。また、ある職員だけが頑張るというのではなく、互いに足りないところは補い合いながら、お子さんから見た時「どの先生も自分を見てくれている。」と感じるような職員集団でありたいと思っています。ご心配していただいているように、子どものためにということを理由に教職員が健康を害してしまうようでは、結果として子どもたちに迷惑をかけることとなります。職員の心身の健康管理は子どもたちのためにも大事な事と思って、管理職として、教職員に声をかけていきたいと思っています。</p>
<p>やり切る態度【じっくり】 生きぬく基礎【まなぶ】 宿題を必ずやり抜くことができるようになりました。先生がちゃんと見てくださっているからだと思います。</p> <p>担任の先生は、毎日忙しい中、宿題のノートや授業のノートまで丁寧に見てくださっています。コメントまで書いてくださっていて、子どもはもちろん、親の私まで嬉しくなります。いつもありがとうございます。</p>	<p>子どもたちが変わってきてきています。宿題は自分のためにやる、やればそれだけ勉強への理解が進み、さらに学習意欲につながる、そうした正の連鎖が生まれてきているように思っています。そうした子どもたちの成長に応える、それが子どもたちへのコメントとなっているのだと思います。こうしたコメントを入れることができる教員に学んでいきたいと思っています。</p>

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
<p>生きぬく基礎【まなぶ】 問 17. 少人数指導について、学年で（今年は5年生だけしている）していない学年もあるように思う。</p>	<p>国・県では本校が実施しているTT体制（一つの教室に指導者が2人以上いる。）も、少人数授業と位置付けています。そのため、制度的には全学年で算数は少人数授業を行なっています。その上で、5年生のみと言われるのは、習熟度別グループ編制をして、一つの学級を分けて授業をすることを指してのご意見かと思えます。本年度から5年生で習熟度別学習を取り入れたのは、「わかる授業算数習熟度別」という事業を受けたことも理由ではありますが、5年生の子どもたちの実態として、「わかったふりをしている子がいる」「わかっていても挙手をして発言をする子が少ない」という姿があったためです。中学年では習熟度別編成をするのにまだ子どもたちに任せてという段階ではないので、生活班を元にしてクラスを半分に分けての少人数授業も行なっています。今後も、少人数授業の方法について、子どもたちの学力向上に結び付く方法を校内研修などで検討しながら進めていきます。</p>

○地域の方に学ぶ・人がつながる学校づくり

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
<p>人権学習に力を入れていることは素晴らしいことだと思います。しかし、広く浅くなっている部分も感じます。私自身、PTA学習会等で人権学習については正しい知識を学ぶということを幾度も聞いていますが、実際知らなかった差別用語をこの学習で知った事で相手を傷つける言葉に使っていると感じたことがあります。正しく理解するという面からも、今の小学生が差別用語を学ぶ必要があるのか、疑問に思います。今一度、今の小学生に合った学習内容を検討していただけるとありがたいです。</p>	<p>おっしゃる通りです。私たちも、広く浅くなってしまっただけで、差別用語だけが子どもたちに残るような人権学習ではだめだと考えていますし、注意を払っている所です。それでも、保護者の方に左記のようなご心配をおかけする姿が、子どもたちの会話の中にあつたことも担任から報告を受けています。その時も、その学級の課題という捉え方ではなく、何のためにその学習内容にしたのか、子どもたちにとって本当に「自分見つけ＝生き方学習」になっていたか、全職員で考え合いました。今後もご心配していただいていることを繰り返さないように、目の前にいる子どもたちの成長を考えて、人権課題の学習に取り組んで行きます。</p>
<p>学童保育所の定例会で、小学校の空いている教室の話題が出ました。現在の学童保育所が閉鎖された場合依頼があれば、検討していただけると幸いです。</p>	<p>まだ、正式には学校に相談はありません。ふれあい会館の管理が市へ移換されることは聞いています。また、地域の方は当分の間は市が管理して、ふれあい会館そのものは残るであろうと思っていたら、市は建物をすぐに壊して、土地を売却する計画で進めたいと思っているらしいと噂が流れ、地域の方が不安に思っているという話は聞きました。</p> <p>現在、保々小学校には空き教室はありません。おそらく、少人数授業を行う教室を保護者の皆様は空き教室と言われているのだと思います。そうは言っても学童保育所の移転先が小学校周辺にあるとも思っていない。正式に話があつてからということにはなりますが、北校舎1階の2教室がその対象として検討しなければならないだろうと考えています。ただし、来年度の夏は保々保育園の仮園舎として北校舎・中校舎の1階を使ってもらうことが決まっていること、北校舎の中で区切りがないため開放用の構造になっていないこと、中学年の少人数授業や学年活動に使っている2教室を学童保育所にした場合の代替の教室の確保、更には電気配線を分けるなど、課題は山積みであることもお伝えしておきます。次年度内に心配されていることはないという情報もあります。</p>

○安全・安心な学校づくり

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
<p>いつも大変お世話になっております。「学校は友だちがたくさんいて、勉強を教えてもらえて、給食まで食べさせてくれるんだよ。」と、本当に楽しんで行ってくれて有りがたいです。通学は心配していましたが、「お迎えの日が嫌い」って言うほど、友だちと歩いて帰るのが楽しいようで、先生や友だちなど、みなさんのおかげだなあと感謝でいっぱいです。何か気になったり、他の子に迷惑をかけたりと、些細な事も教えていただきたいなあと思っております。よろしくをお願いします。</p>	<p>どの子も「学校が楽しい」と感じられるようにしていきたいと思えますし、そのためには、子どもたちが主役となって、自分たちの自主的な行動・言動によって「学校は楽しい」とみんなが言えるようになることを目指していきたいと思えます。また、お子さんが「学校は楽しい」と言えるのは、保護者の温かい受け取りや励ましの言葉があつての事だとも思っています。私たちの方こそどんな些細な事でも気になることがあれば、教えていただくとあり難いと思っています。</p>
<p>問 14 育ちのプログラムをもとにして家庭でも子どもの将来を見据え、言葉がけをしたり、支援をしたりすることは、とても難しいです。</p> <hr/> <p>育ちのプログラムは、わが子のように特別な特性を持つ子には、参考にならない。アンケートについても同様に考えている。(担任の方からも、お話をさせていただきます)</p>	<p>プログラムは目標ではなく、お子さんの成長の指標だと思っています。書かれていることをお子さんのステージでできていなければならないという捉え方ではなく、社会に出る時にはこんな力が求められるのだなあ、そのためには、子どもはこんな発達段階を経て育っていくといいんだなど見てみてください。また、プログラムに書かれている内容が難しいと感じられた場合は、チェックリストの方を見ていただくとよいかと思います。まずは、そのチェック表にお子さんができることは何か、チェックを入れ、できるようになったらチェックしていこうと、お子さんと一緒に見てもらえるといいかと思えます。このことは、特性のあるお子さんの場合でも、同じであると考えますが、できないからだめではなく、できる努力をすることやそれに代わる力を身に付けていくことや、支援が求められる力を身に付けていくことも大切であると考えています。</p>
<p>いつもありがとうございます。毎回このアンケートに書かせてもらっていますが、運動会のお家の方の観覧マナーです。飲酒について、毎回校長をはじめPTA役員の方々が口をすっぱくされるほど申し伝えてくださっているにも関わらず、缶にわざわざカバーをされて飲酒されている方を見ました。そんな隠してまで飲むお酒はおいしいのかとガッカリすると共に、運動会を頑張る子どもたちの姿を見てとても胸が痛みました。以前問題になったトイレでお菓子を隠れて食べていた件で「バレやんようにせなあかんやろ」とお家の方に言われた件を思い出してしまいました。</p>	<p>せっかくお子さんの運動会を楽しみにして来ていただいたのに、このようなことを考えてもらいながらの運動会参観になっていたことを、本当に申しわけなく思います。正直なところ、喫煙も含め、とても注意しにくいことと校長である私自身が思っていた事を反省します。こうした気持ちで見学・応援をしていただくことがないように、来年も全ての保護者の皆様に禁煙・禁酒をお願いしていきたいと思えます。</p>
<p>いつも子どもたちの為にありがとうございます。何かあれば、校長先生や担任の先生方からお話を聞けて、大変心強いです。一緒になって子どもたちの事を考え見守ってくださるので、とてもうれしいです。私たち親子の「大応援団」です。</p>	<p>「チーム保々」がそのように「大応援団」と受け取っていただけることに感謝していますし、私たち教職員のやりがいはこちらにあるんだなあと改めて感じます。</p>
<p>問 19 に対して、もっとそういう機会があってもいいのではと思います。元々の保々の人は生まれ育った土地を大事にする人が多いのですが、「保々再確認」として、保護者や地域の方、児童が新たな発見ができるようなものが、増えるといいなあと思えます。</p>	<p>学校行事・学年行事については、毎年この両面からの意見をいただいています。働き方改革を進めていくことも、事実求められています。新たな発見を生むためには、地域教材の発掘やその授業づくりが必要です。今まであったものにそれを上乗せすることは物理的には厳しい状況にあります。学校はスクラップ&ビルドで、教育実践を進めていく必要があります。また、保護者や地域の方に直接授業に入っていただき、ともに取り組んでいただけるようお願いすることも「保々再確認」の実践を生み出すことになるとも考えます。</p>
<p>問 19 イベント多すぎるのでは？教師の負担増が心配</p>	<p>学校行事・学年行事については、毎年この両面からの意見をいただいています。働き方改革を進めていくことも、事実求められています。新たな発見を生むためには、地域教材の発掘やその授業づくりが必要です。今まであったものにそれを上乗せすることは物理的には厳しい状況にあります。学校はスクラップ&ビルドで、教育実践を進めていく必要があります。また、保護者や地域の方に直接授業に入っていただき、ともに取り組んでいただけるようお願いすることも「保々再確認」の実践を生み出すことになるとも考えます。</p>

保護者の皆様からのご意見	学校側の見解
<p>通信やHPを見せてもらおうと、そのことで子どもと会話ができ、さらに学校での様子や子どもの思いなどを子どもから聞くことができるので、大変ありがたいです。</p> <p>昨年もお伝えしましたが、子どもの姿、クラスの様子など見えてこない現状があるように思います。子どもたちの課題も伝えていただき、学校・家庭でともに考えていけたら良いかと思えます。問 17. 18. についても、行なっていただいていると信じていますが、姿が伝わってこないのが現状です。</p>	<p>教職員へのアンケートでは、実は通信やHPのアップが、現状維持からやや減少傾向にあるのではないかと反省する結果となっています。学級によっては、学級だよりが今年度はなかなか発行されなくて、子どもの様子がわかりにくいというご意見もいただいています。保護者の方から先のような感謝と激励の言葉をいただいていることを励みに、子どもたちの姿を伝えていく、お家で会話が生まれるような通信・HPをこれからも発信していきたいと、改めて思っています。</p>

これからも、お気づきのことがあれば、その都度学校までご連絡をください。

また、「学校がやる気をみせてほしい。」というご意見を意識して、保護者・お子様からのアンケート集約の分析と学校の考えを記述したつもりですが、そうは感じないということもあるかもしれません。そのように感じられたときは、遠慮されることなく、校長へ意見をください。そのお気持ちにすべて応じることはできないかもしれませんが、互いにお子様のためと思っていて、なぜ考え方・捉え方が違うのかを話し合わせていただくことは可能かと思えます。そうさせていただくことが、何より大切なお子様のためになると思います。よろしく願い致します。

【4年生以上の子どもたちからもらった

「保々小学校をさらによくするためにどうすればいいと思うか」の意見】

- ・ 4年生の意見 * 5年生の意見 ** 6年生の意見

○聴き合い語り合う授業づくりに関して

【だいすき】

- * 動いて何か集めたり、電子パソコン（電子黒板）を使った授業（がいい）
- * パソコンの授業を増やす。将来パソコンをたくさん使うし、楽しいから。
- * 授業を楽しい内容にする。

【つながる】

- ・ 発表すると楽しくなる。・ 発表をする。
- ・ 授業の時に静かにする時はして、しゃべる時はしゃべった方がいい。
- ・ みんなで意見をいっぱい言えるようにする。
- ・ 友だちの意見をよく聞く。・ いっぱい発表をして考える。
- ・ 自分が思ったことを発表する。

【じっくり】

- ・ 国語で読むこと。 **わからない子のペースで行う。

【やってみる】

- ・ 分かりやすく授業の説明をする。
- ・ みんなでやってみたいと思う工夫をする。



- ・みんながわからない事とかを知らない人に教えてほしい。
- ※近くの人と一緒に考えて勉強する。 ※友だちと勉強をする。

【すこやか】

- ※かけ足タイムを授業（中）にして、30分休みはしっかりにとって欲しい。（2人）

【まなぶ】

- ・学ぶことが楽しい学校にあった（あっている？）時間はいいと思った。
- *先生の話をよく聞くと内容がわかるから学ぶことが楽しいと思う。
- *自分がわからない所があれば、しっかりと聞（訊）けたらいいと思った。
- ※わからない勉強があったら、誰かに聞（訊）いてわかるようにする。
- ※わかりやすい授業をする。（3人）
- ※楽しい授業をする。 ※楽しく授業をする、笑えるような感じ。
- ※わからないことを先生に聞いて理解し、計算することが楽しくなるように、機会を作ればいいと思う。私は最近わからない所を先生や友だちに聞いたりして納得できると、勉強が楽しく感じたりすることがありました。

○支え合う仲間づくりに関して

【だいすき】

- ・笑う時に笑い、学ぶときに学ぶようにすればいい。
- ・友だちを作る。そして考える。
- ・学ぶことが楽しい学校にするために、だれとでも仲良く、勉強が大切だと思えば、学ぶことが楽しいと思えると考えました。
- ・友だち同士みんなが仲良くなって、けんかもせずに、けんかをしていたら止めて、授業を進める。
- *クラスみんなの関係をよくしたり、あいさつをしたらいいと思います。
- *友だちなどを助けてあげられるようにすればいいと思う。
- *みんなが自分の意見をはっきりと言う。



【つながる】

- ・思ったことはすぐにその人に言う。
- ・先生の話や授業をしっかり受けたい。・授業で全員が静かにする。
- ・みんなが授業に集中できるように注意し合う。
- ・みんなが集中して授業を行うとよいと思う。
- ・先生の話をよく聞く。・ちゃんと先生の話聞いて、考えた方がよい。
- ・みんなで楽しく授業をする。みんなで協力をして、助け合えることが大切だと思う。
- *毎日あいさつ運動をして、みんなとの関係を深める。
- *教え合ったりすること。*みんなで教え合い分かり合える。
- *学ぶことが楽しい学校にするために、元気にあいさつをしたり、しっかり勉強したら楽しいと思います。
- *みんなで声をかけて助け合う。（途中でクイズをする）

【じっくり】

- ・自分がやりたいことをする。(そうすれば)勉強(学校)に毎日来るのが楽しくなる。
- ・明日の目標を決めて、明日も元気に(学校に来る。)(授業は嫌いだけど、学校はまあまあ楽しい。)
- ・勉強に一生懸命に取り組む。
- *委員会の人などでいろいろな人が楽しめるように取り組んだらいいと思う。

【やってみる】

- ・一人ひとり目標を持つ。
- ・困った時にみんなで協力して人が分からなさそうにしていたら「わかる?」と声をかける。
- *どんどん意見を言って、いろいろな考えを言う。
- *みんなで協力をして、最後までやり遂げる。
- *わからない人にわかるまで教えるポスターを貼る。
- *一人ひとりが自分から言う、自分から行動するといいと思う。失敗しても前向きになると思う。

【すこやか】

- ・決まりを守ったり、勉強をしたりすることを、楽しく思ったりする。
- ・全校のみんなが学校のルールを守って、勉強に取り組めたらいいと思う。
- ・みんながルールを守っていったらいいと思う。・ルールを守る。・約束を守る。
- ・ルールや決まりを守る。・ルールを守って勉強をちゃんと受ける。
- *一人ひとりが学校のルールを守り、けが人も減らしていく。
- *一人ひとりが学校のルールを守り、クラスで協力して助け合うといいと思う。
- ✳️マナーやルールを守りたい。(2人) ✳️一人ひとりがルールを守る。
- ✳️一人ひとりがマナーをきちんと守ろうと心がけたら学ぶことが楽しくなると思う。
- ✳️全員が学校のきまりを守る。
- ✳️全校が決まりを守って約束を守っていけばゴミもなくなる。 ✳️時間を守る。
- ✳️学校の決まりを守って安全に過ごす。
- *全員が学校の決まりを守って、差別とかをなくしていくこと。
- ・約束を守って楽しい時は楽しくして、勉強する時はしたらいいと思う。
- ・みんなが挨拶をして、話を聞いて、みんなが授業に集中して、30分間遊べるように最後まで話を聞く。
- ・規則を一人ひとりが守ってやっていけばいい。
- ・やる時はやる、遊ぶときは遊ばばいい。そうして、学校をみんなで楽しいと思えるようにすればいいなと思いました。
- ・走った人が反省するまで話し合いをする。
- ✳️皆で(班で)話す時間をもっと増やして欲しい。
- ✳️きりかえ(怒られると楽しくないから)

【まなぶ】

- ・週に1回、クラスの会議を開く。
- ✳️学活の授業を増やす。



○学習・生活の支援体制づくりに関して

【だいすき】

✳️保々小学校をもっときれいにして欲しい。

【つながる】

- ・毎日全員があいさつをする。
- ・あいさつやお礼を言う。
- ✳️クラスマッチを増やして欲しい。
- ✳️クラス遊びを増やす。
- ✳️縦割り班での活動をもっと増やす。 ✳️全校での遊びを増やしたらいいと思った。
- ✳️全校で行う遊びを増やしたり、クラスでの遊びを増やしたらいいと思う。授業をクイズのようにして行う。
- ✳️お弁当給食や児童大集会以外にも他学年と関わる時間があるといいと思う。縦割り班やきょうだい学年で宿題や勉強会をしたら楽しそう。
- ✳️きょうだい班で遊べば、もっと仲良くなると思います。
- ✳️1年生と6年生の交流を増やす。(2人)
- ✳️もっと下の学年との交流を深める。2年前ぐらいにあったけど、各クラスで出し物をしたりして、下の学年の子たちとの交流を深める。
- ✳️頭を使った謎解きゲーム(児童大集会)をしたい。
- ✳️仲間との交流を深める。

【じっくり】

✳️授業と授業の間の休み時間を少しのばして、次の授業に遅れないようにしたら、みんなが学ぶことができると思います。

【やってみる】

*自分がやりたいと思ったことを最後までやり遂げる事。

【すこやか】(なし)

【まなぶ】

- ・夏休みと冬休みの宿題をなくして、宿題を少なくする。
- ・授業を楽しくする。(宿題を減らす)
- ✳️授業が一人ひとりきちんとわかるようにする。
- *たまに授業の時などに遊びながら学んだりする。
- *授業の内容を面白くしたら、学ぶことが楽しくなると思った。
- *少し勉強の中に遊び(ゲーム)を入れて復習のようなことをたくさんしたらいいと思う。
- *授業に少しボケを入れる。
- ✳️授業にゲームを入れる(楽しくする)。
- ✳️学べばいいと思う。

○地域の方に学ぶ・人がつながる学校づくりに 関して

- ・楽しいできごとがいっぱいできたらいい。
- ・いろいろなことをする。



○安全・安心な学校づくりに関して

- ・みんなが学校を好きになるといい。
- ・学校を好きになる。
- ・学校に来るのが楽しくなるように、仲間はずしはしない。
- ・いじめをなくしていく。
- *みんなが安全に楽しく、差別やいじめをしない。楽しい学校を自分やみんな、全校が心がけてやればいい。
- *なかま外れやいじめをしないようにみんなが仲良くする。
- *いじめやなかまはずれにしない。 *なかま外れをなくす。
- *いじめをなくしていくといい。 森いじめ差別をしない。 森いじめをなくす。(2人)
- *いじめや悪口を言わない。
- *いじめを見かけたら、自分も便乗せずその場で止めるとよいと思う。
- 森いじめなどはなくして、みんなが気持ちよく授業ができるようにする。
- 森いじめや差別がない学校にすればいいと思います。(2人)
- *みんながみんなに優しくすればいい。
- *けんかをしていたら声をかけて、解決したら、楽しい学校にしよう。
- 森いけないことは注意して、楽しい時はおもいっきり楽しむ。
- 森友だちにいけないことをしている子がいたら、注意でき、信頼できる人になる。そして、学年関係なく交流をする。
- *なかまはずしをなくして、不安なことを先生や友だちに話して、気持ちを落ち着かせて、リラックスして、楽しい学校生活を送ってほしい。
- *保々小学校みんなの相談が聞けるような人(スクールカウンセラーかな?)が増えて欲しいです。
- ・廊下や教室で走ったりするとけがが増えるから、走ったりしない。
- ・右側を歩く。校内では走らない。 *廊下を走らないようにする。 森廊下を走らない。
- *けがをなくす活動を行うといいと思います。
- *安全に対してクラスで話し合いをした方がいいと思う。クラス全員が安全に対しての意見を言うこと。
- *学校のマナーを守り、安全な学校を創ること。
- *「学べばいい事がある」などのポスターをかく。
- 森下校時刻を遅れないようにしてほしい。(2人)
- 森休み時間になったら授業を終わる。 森授業の終わる時間と始める時間を守る。
- 森時間を守る。 森全員時間が間に合わなかった。
- 森30分休みを1時間休むにする。授業を25分にする。毎日4限にする。
- 森休みの時間を増やす。
- 森1日に国語・算数・理科・社会がの4つの教科があると疲れるから、1日3つまでにしたい。
- 森先生は何かあった時に、理由を聞いてほしい。



- ※人を傷つけない。
- ※手を挙げて何も言われない。(手を挙げたことで冷やかされた経験があるのかもしれない)
- ※ブランケットを配る。
- ※桑名市のようにエアコンをつける。(四日市市は、平成31年度に設置、平成32年度から使用開始)
- ※壊れている、故障している箇所を直すなどした方がよいと思う。
- ※今のままでいいと思います。(2人)

昨年は施設の改善について、意見が多くあったのですが、今年は勉強・授業についての意見が多かったように思います。それだけ、普段から子どもたちと教職員が学校生活の中で学ぶことを大切に考え、話し合っているからだと思います。

また、4年生の意見は授業中や学校生活の中でルールや約束を守るということに集中していました。私たち教職員も4年生の学びに対する向き合い方については心配をしています。その気持ちが子どもたちにも伝わっているんだなあと思いました。

5年生は、授業への向き合い方として、自分ができることや今みんな大切にしていることに意見が集まっているようでした。他学年に比べるとどちらかといえばおとなしくて、目立たないことを選んできた学年でしたが、そこから抜け出そうとしている子どもたちの心の成長が伺えます。

6年生は、全校のみんなのできることをもっと増やすといった意見が、4・5年生に比べて多くありました。6年生になって全校の先頭に立って縦割り班活動や児童大集会などを行ってきた経験からの意見だと思います。また、学習に対しては、「楽をしたい」＝「学ぶことが楽しいこと」という捉え方と、「わかること」＝「学ぶことが楽しくなること」と捉えている子に別れているのも、この学年の子どもたちの特徴であると思います。

校長として5年間も保々小学校を預かり、「学ぶことが楽しい学校づくり」を目標に掲げ、子どもたちには「心の計算」を身に付けていくことで、みんなで保々小学校で学べたことを喜び合える、そんな学校にしたいと思って今日まで努力してきました。子どもたちから意見をもらおうと、毎年それぞれの学年カラーが見えてきます。そのカラーはその学年に関わる教職員が子どもたちに働きかけていることが反映されることが多くあります。子どもたちがどんな子に育ってほしいのか、どんな保々小学校がみんなが望む学校の姿なのか、考え合い・考え直したいと思わせてくれる学校アンケートです。

3学期が始まって、10日間が経ちました。

8日(火)に始まった3学期も10日間が経ちました。始業式の日には全校で3名の欠席で、インフルエンザに罹患している子もいましたが、その後は手洗い・うがい、休み時間の喚起、教室内の湿気確保、必要な子はマスク着用と呼びかけてきたことで、校内での流行は防いできました。

しかし、今年の特徴として、家族間・きょうだい間での感染があり、連休明けの火曜日には20名の子が欠席で、内6名のお子さん



がインフルエンザで欠席という状況でした。この日には保々幼稚園でインフルエンザによる欠席が半数近くになって全園閉鎖になり、保々保育園の年長さんにもインフルエンザの欠席が増えているという情報をいただいていた。また、翌日には保々中学校2年生の1クラスがインフルエンザによる学級閉鎖に入りました。本日の保々小学校の欠席は18名で、内インフルエンザによる欠席は8名でした。

私たち大人はなかなかインフルエンザだからと言って休みにくい所はありますが、インフルエンザに罹患したら発症した日から5日間、かつ熱が下がって2日間（幼児にあっては3日間）は休むことが必要とされています。どうか、保護者の皆様も無理をされませんように、お気をつけください。

今週の土曜日は、PTA学級委員選出会議（1～5年生・1限目）があり、その後フリー参観（2・3限目）となっています。インフルエンザに罹患している子はわずかですが、油断はできません。保護者のみなさまもマスク着用の上、参観してください。土曜日までに（土曜日も含める）インフルエンザのための学級閉鎖があったとしても、予定通り学級委員選出会議は行います。お子様が発熱などで欠席し、看病のため離れられないという場合は、登校班の子に頼んで、委任状を出していただきますよう、よろしくお願い致します。

全校で、大縄の練習が始まっています。

先週の11日（金）から、30分休みのふれあいタイムに、大縄跳びの練習が始まっています。児童昇降口を入ると、各クラス別の表があり、各クラス2チーム合わせて何回跳ぶかを目標として、何回跳んだかを記録として書くようになっていきます。これは、目標を回数にする方が、子どもたちにはわかりやす



いと考えるの事ですが、どのクラスでもたくさん跳ぶだけが目標ではなく、練習中にどんなことに気を付けていくか、どんなことを目標にするかを話し合っ、数字ではない目標が話し合われています。例えば、低学年では「どの子も大縄跳びができるようにがんばろう」「全員で協力して、最後まで応援しよう」「ひっかかっても負けずに跳ぼう」「自分の力を出し切る」などがあります。高学年になると「なかまを信じて、全力で跳ぶ」「自分たちで声をかけ合っ、跳べるようになろう」「練習と言われた日以外にも練習をしよう」「先生に言われなくてもみんな練習をする」など、大縄跳びの練習に対する気持ちを確かめ、目標としたクラスもあります。そして、6年生は「小学校生活最後の思い出として、悔いの残らない記録をつくろう」「最高学年として、どの学年にも負けません」などを目標にしているとも聞きます。1月23日（水）の30分休みに大縄集会を行います。大変寒い時期ではありますが、防寒をされて、子どもたちの記録会の応援をよろしくお願い致します。

15日（火）月曜日課にして、委員会活動を行いました。

この火曜日は、月曜日課として、5・6年生による委員会活動を行なわせていただきました。先日のおたよりでもお伝えしたように、月曜日課を確保し、授業時数確保を進めるためでした。2月にも月曜日が祝日という日（2月11日建国記念の日）があります。今後月曜日の教科が時数確保できない場合は、各クラス別に時間割変更があるかも知れませんので、ご承知おきください。